

農作物へのカメムシ類防除に対する支援を求める意見書

近年の気候変動に伴い、全国的にカメムシの大量発生が報告されており、特に水稻をはじめとする農作物への被害が深刻化している。米の品質低下や収量減少を招き、農業経営に大きな影響を与えているほか、住宅地への飛来による生活環境の悪化も顕著となっている。

水稻カメムシの防除には高度な知識と技術が必要であり、農家や関係団体、自治体の負担は年々増加している。本町では、長年ラジコンヘリによる航空防除を実施してきたが、協力員の高齢化や人員確保の困難等により令和3年度をもって中止し、個人防除（箱処理）へと移行している。果樹や野菜についてもカメムシ類による被害が増加している。

これらの対策は、原則として受益者負担によって行われているが、財政基盤の脆弱な基礎自治体単独では限界があり、広域的かつ国の支援を伴った対応が不可欠である。よって、良質な農作物の安定生産と農業経営の持続のため、国に対して下記の点について要望活動等を実施されるよう強く要望する。

記

- 1 カメムシ防除に係る農薬等購入費用の助成制度を創設すること
- 2 広域的・集団的な防除が効果的であることから、実施可能な地域においては来年度の実施に向けて検討を行うこと
- 3 カメムシの越冬を防ぐため、農閑期における防除対策及び住宅地への飛来対策を講じること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和7年6月16日

宮城県知事 あて

宮城県山元町議会